



《アトリ-チ》Tokyo サイエンスフェアに参加しました

11月2日(日)、本校の生徒が東京都立立川高校で行われた「科学の甲子園東京都大会(全国大会代表チーム選抜)」に出場しました。都内46校が参加し、筆記競技と実技競技に挑戦しました。

【参加した生徒の感想】

- ・ 初対面のメンバーもいる中で、放課後に集まり議論したり知識を共有したりしながら準備を進めることで、互いに切磋琢磨できる仲間に出会えたことが大きな収穫でした。同じ学校にこんなにも多才な人がいるのだと知り、励みになりました。また、筆記の準備を通して自分の理解が不十分な部分に気づき、今後の学習意欲にもつながりました。
- ・ 実技競技では「マジックハンドの製作」に取り組み、アイデアを出し合いながらチームで工夫を重ね、納得のいく作品を作り上げることができました。他校の多様な作品を見るのも刺激的で、質問を通じて交流も深まりました。制限時間のある本番では協力が不可欠で、作業を通してチームの団結力も一層高まりました。新たな出会いと経験が今後の励みになり、参加して本当に良かったです。



「科学の甲子園東京都大会」に出場した2年生

《アトリ-チ》The 24th International Symposium on Advanced Technologyに参加しました



ポスターセッションの様子

11月22日(土)、工学院大学八王子キャンパスで開催された「The 24th International Symposium on Advanced Technology (ISAT)」高校生ポスターセッションに、同年8月のモンゴル巡検に参加したチームが出場しました。

テーマは「Mongolia's Environment as Observed Through Vegetation Surveys (植生調査と日本との比較から見るモンゴルの環境)」。

8月に現地で行った植生調査の結果を、日本の植生との比較を通してまとめ、モンゴルのステップ(草原)と日本の森林の違いを具体的な植物種から考察する貴重な機会となりました。

【参加した生徒の感想】

- ・ 今回、初めて英語でポスター発表を行い、英語でのセッションを聞く機会も少なかったため、とても貴重な経験になりました。特に質疑応答で英語を使って対話したことや、他校・大学の発表を英語で聞いたことは、今後の英語学習の大きなモチベーションにつながりました。今後の学習や探究活動にも活かしていきたいです。(2年生)
- ・ 英語での発表だったため理解が難しい場面もありましたが、身振り手振りを使うことで意思疎通ができました。大学生の発表は内容が高度で、理解に時間がかかる一方、大変興味深いものでした。自分の興味を追究できる環境に身を置くことが、将来にも役立つと感じました。(1年生)



本番で使ったポスターと発表者

★3年生の個人探究論文集を鋭意編集集中です！全校生徒のみなさんの手に渡るまで、あと少しです！
その中で、3年生の論文「低アレルギーのケーキレシピの考案」が『生活創造コンクール』の
努力賞に選ばれました！おめでとうございます！

